あなたのまちのコミュニティ活動情報誌

コミュニティしずおか

2018
150号
記念誌

地域再訪問記

コミュニティ静岡 地域訪問記

山村活性化を女性の手で

「くんま水車の里」グループ

（天竜市熊地区）

天竜市の中心から北へ車約三十分、桧林に囲まれた道を北遠振興センターの辻んの案内で、天竜市熊地区訪問した。

愛称くんま（熊）地区センターには、村おこしに奮闘する美しい三人のミセスが出えてくれた。昨年の六月に足した「くんま水車の里」ループ（会員三十一人、う男性は一人）の会長和子さん(44)と、太田(49)、大平展子さん(40)る。三人とも地域婦人Bで、この山村の活性女性で

「活性りこの熊地区に人くれるこ

を利用して栽員手作り

左から 太田さん 金田さん 大平さん

NPO法人夢未来くんま（浜松市天竜区）

150号を記念し、昭和63年1月5日発行第29号に掲載されたくんま水車の里へ再び訪問。村おこしを牽引された三人に再び出迎えていただきました。

「名もなきかあさん」たちが「先進事例」に！

浜松駅から車で1時間と少し走ったところにある浜松市天竜区熊地区。途中、スギヒノキに囲まれた山道を抜けて、ふわりと開いた街並みの先に道の駅「くんま水車の里」はある。

「くんま水車の里」を運営するNPO法人「夢未来くんま」は、昭和61年に始まった「熊地区活性化推進協議会」を前身として、平成12年にNPO法人化した団体で、運営する食事処や加工所産品で得た収益を、配食サービスやサロン開催によって地域に還元している。こういった仕組は最近こそ多くなってきているが、それを平成12年から始めている「くんま夢未来」は、先進事例として全国的に名が知られている。

昭和63年1月のコミュニティ静岡に、「くんまの女性たち」という記事で掲載された3人の「かあさん」たち、金田さん、太田さん、大平さん。天竜の「名もなきかあさん」たちが始めた活動は、どんな風に「先進事例」となったのか。

Topics トピックス

地域再訪問記…… P1
NPO法人夢未来くんま（浜松市天竜区）
クローズアップ …… P6
NPO法人磐田鮫島方式震災水対策センター（磐田市）
地域再訪問記パート2…… P7
清水町長沢区コミュニティ推進委員会（清水町）

コミック
のりづき・りえ